

近畿労働金庫八日市支店推進委員会さん から寄付金をいただきました

10月6日(火)、近畿労働金庫八日市支店推進委員会の皆さんから日野町へ100,000円の寄付をいただきました。

この取り組みは近畿労働金庫八日市支店が「こども未来応援キャンペーン」と題して独自に企画しておられるものです。

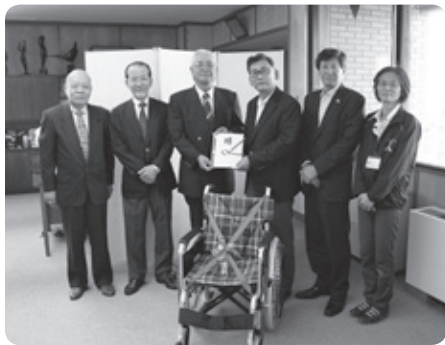
児童図書の購入に活用させていただきます。ありがとうございます。



▲町長に目録を贈呈する三添副委員長(左から2人目)と稲畑支店長(左)

パナソニック松愛会さんしょうあいかいから車椅子 を寄付していただきました

パナソニック松愛会滋賀支部の皆さんから車椅子を寄付していただきました。車椅子は役場で活用させていただきます。ありがとうございました。



▲町長に目録を贈呈する支部の皆さん

羽野攝二さんからプール用コース ロープを寄付していただきました

25メートルプール用コースロープ9本を羽野さんからいただきました。ありがとうございます。



▲大谷体育館で有効に活用させていただきます

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

「ローマ法王に米を送った男」の講演会が、東桜谷地区文化祭で行われました。講師は石川県羽咋市の限界集落、神子原村地区を蘇らせた羽咋市公務員 高野誠鮮さん。自分の住む地域の良さを引出し、地域を元気にしたいという町民の皆さんで公民館ホールがいっぱいになりました。

日野町でも、第5次日野町総合計画の中間年になることから、総合計画懇話会を設置し、先月「総合計画の到達点と残された課題について」の答申をいただきました。答申の提出にあたり懇話会の会長さんから「まちづくりの要である公民館活動への期待が大きい」と指摘いただきました。総合計画では「みんなで支えあい次代に対応した公民館・地域づくりを進める」をめざしており、毎年、運動会、文化祭の定番事業をはじめ多彩な事業が実施されています。さらに力を入れたいと思います。

また、地方版総合戦略づくりが全国の地方自治体で行われています。日野町も「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」を作成しました。10月中旬に5か年総合戦略を作成すれば1,000万円が交付されます。また、総合戦略の施策推進の計画策定にもチャレンジし「地域のたから『日野菜』の再生と日野菜を活かした地域づくり事業」が採択され1,900万円が交付されます。こうした二つの交付金が両方交付される自治体は滋賀県では日野町の他4市だけです。町民の皆さんと役場職員が熱心な議論を行い計画にまとめていただいたおかげとありがとうございます。

日野町では今年、町村合併60周年事業や戦後70年事業、氏郷まつり『夏の陣』や「楽市楽座」、日野ひなまつり紀行や棧敷窓アクト、日野町スポーツ天国の日やふれあい綿向山Day、グリムMTBフェスティバル、近江日野田舎体験など町民の皆さんが中心となつて元気に事業を実施いただきました。さらに町への誇りと愛着を育み、住んでいて良かった、住んでみたい町という思いが広がる町づくりを進めるために力を合わせたいと思います。